

家主さん・ボランティアさん・中間支援団体の皆様へ

マンガで
わかる

空き家活用のすすめ

～住民の活動拠点を空き家活用で～



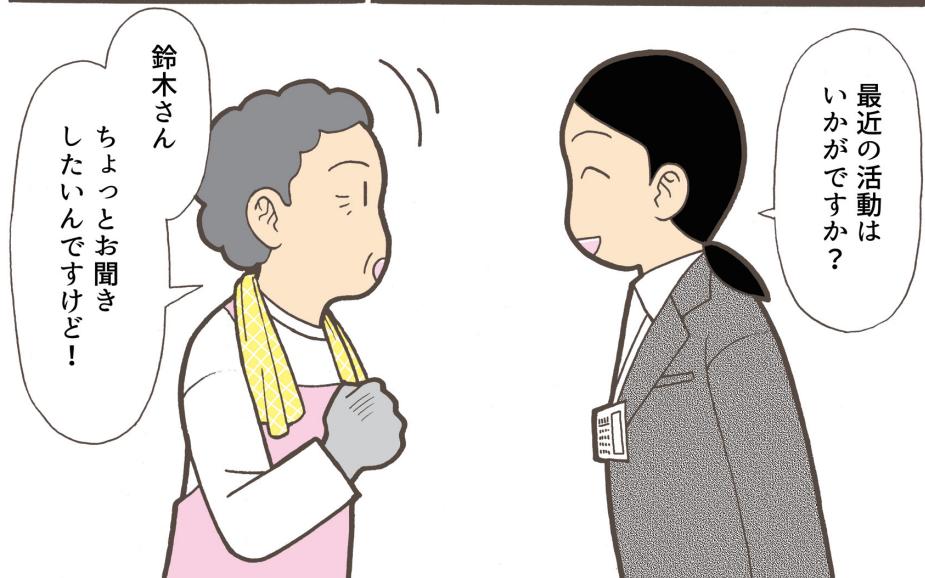
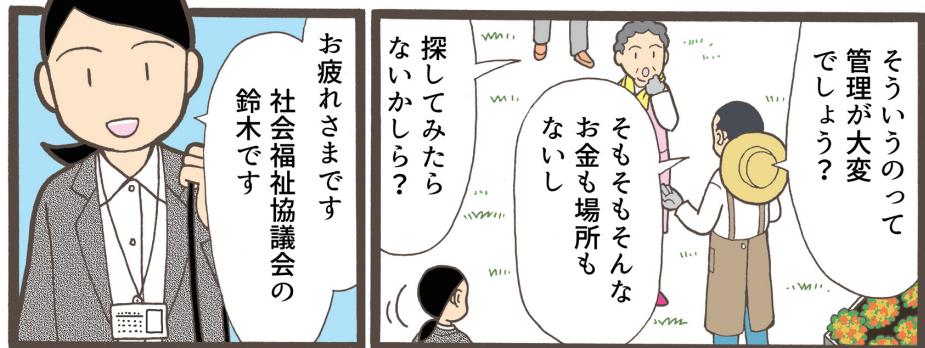
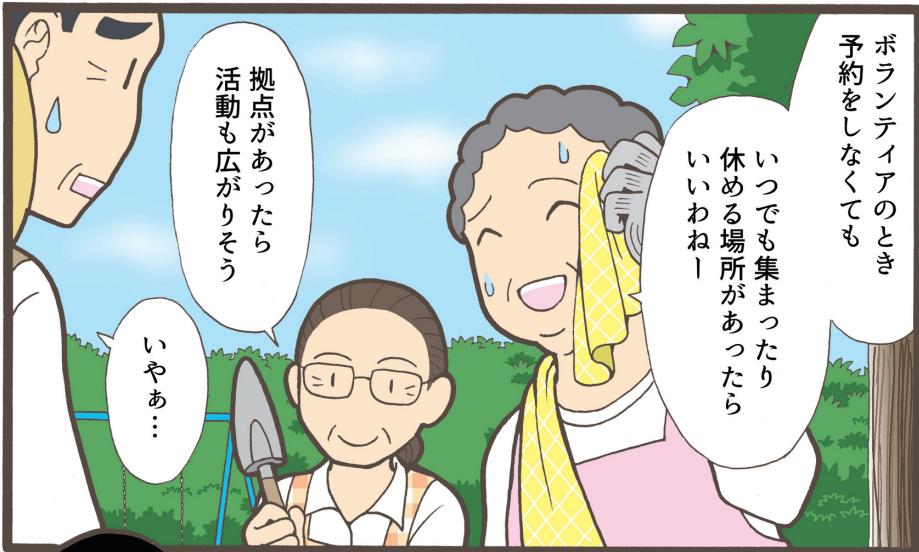
住むことも貸すこともないまま空き家となっている住宅が増えています。そんな空き家となっている建物を、地域のために「貸すこと」や「借りること」を考えてみませんか？

【ボランティア・中間支援団体のみなさま】

自分たちの活動拠点があるとぐっと活動しやすくなります。空き家活用には低額や無料で借りられる可能性もあります。あるものを使うので思った場所に思ったような物件があるとは限りません。でも探してみる価値はあります。

【家主のみなさま】

地域で助け合い活動をしているボランティア団体が、活動拠点として借りられる空き家を探しています。そこでは、賃貸物件としては人気のない「続き間」があるような古い物件も重宝されています。あなたのその物件に新しい価値があるかもしれません。





空き家があつても
所有者があからないとか
苦労もあるみたい
ですけど

皆さんで探して
見つけている
ようですよ

賃家
〇〇不動産
Tel (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇



見守り活動など
活発にされて
いますね

拠点のあるところは
買い物や電球交換の
お手伝い

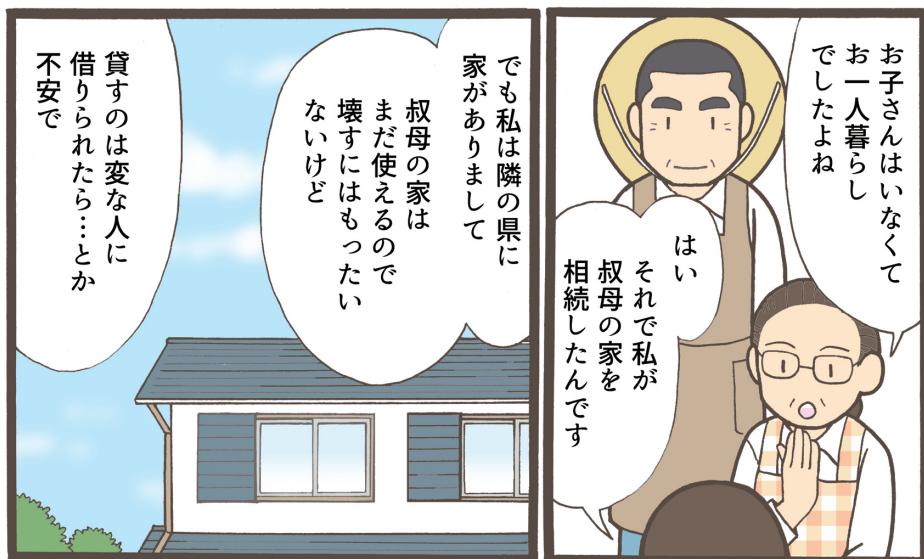
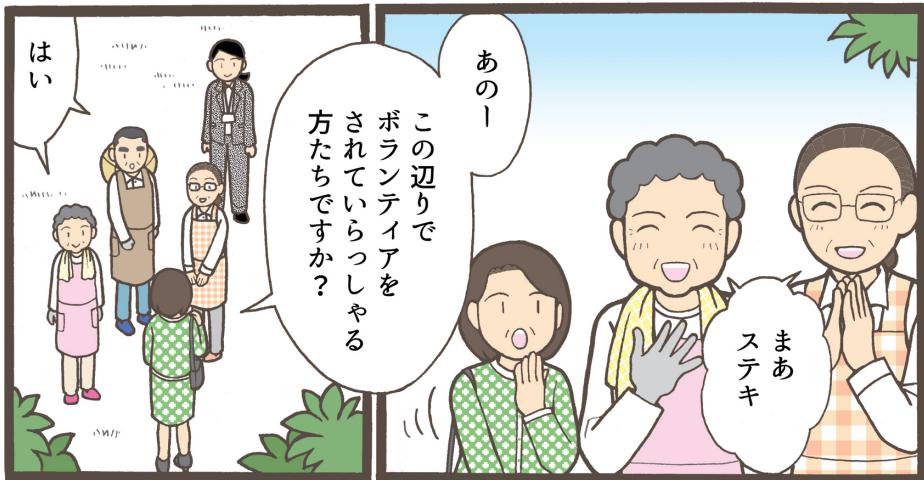
話し相手や
片付け

横断中

気軽に立ち寄れる
場所にもなつてている
みたいです

そして
申し送りや
情報交換なども
しやすく
書類や物品の
保管もできて





そこで
考えたんです

うちの町内に
ボランティアさんの
活動拠点が
あるんですが

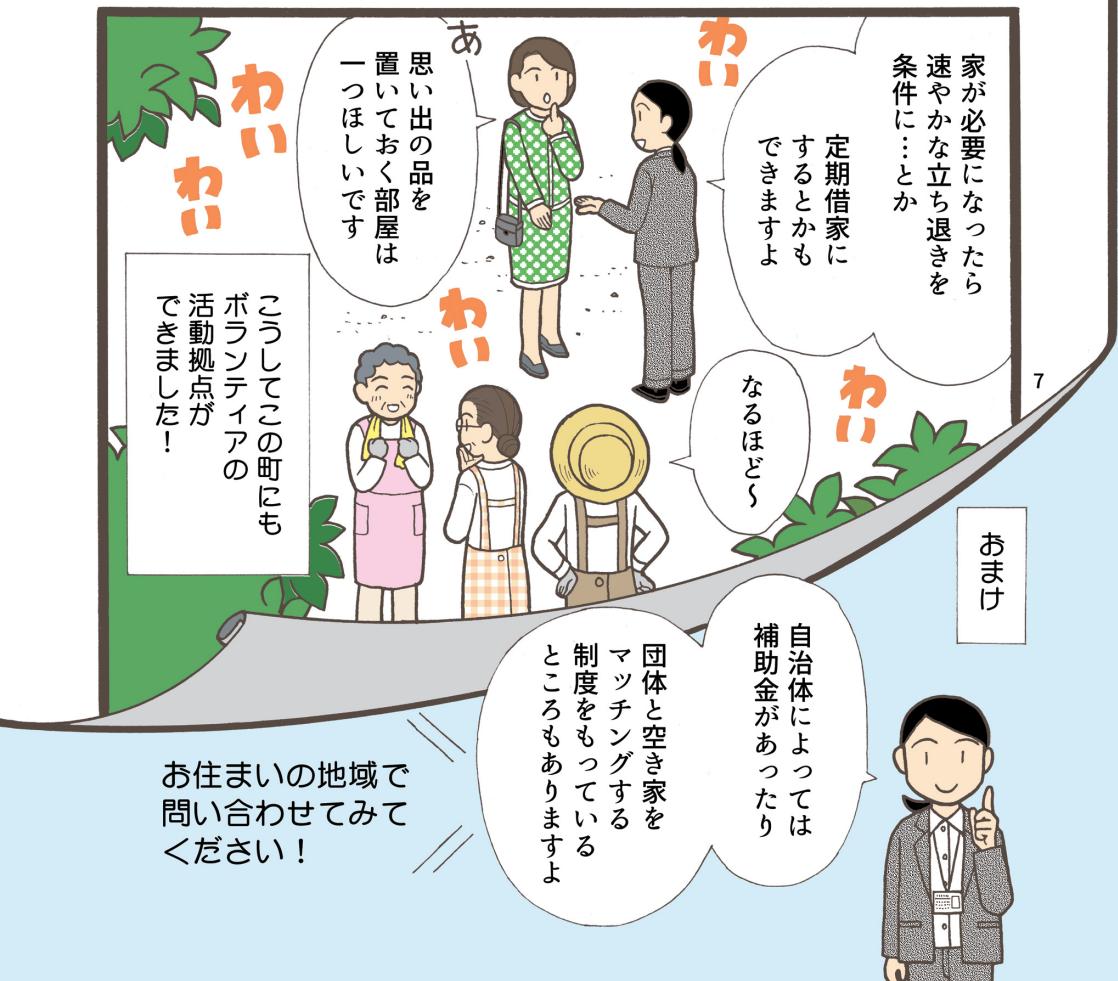
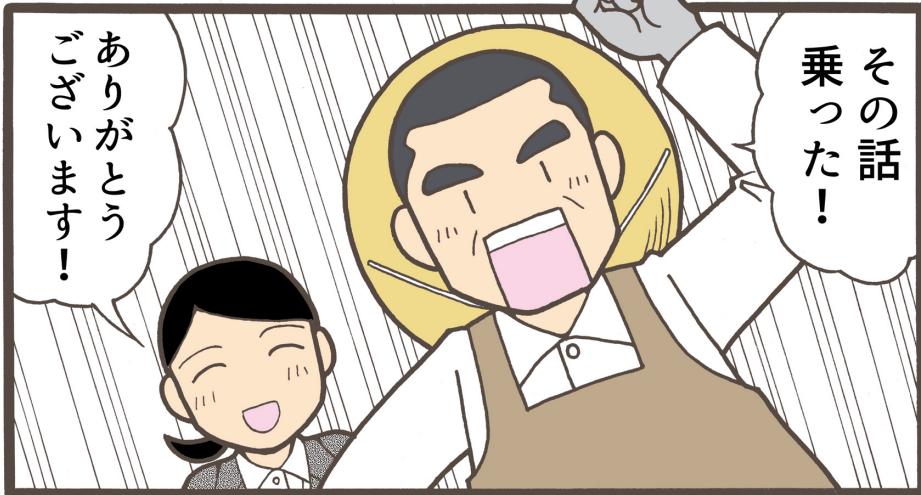
叔母の家も
そんなふうに使って
もらえないかなと
皆さんでしたら
安心ですし

家や庭の掃除を
していただく
代わりに

固定資産税
くらいの金額で
お貸しするというのは
どうですか？

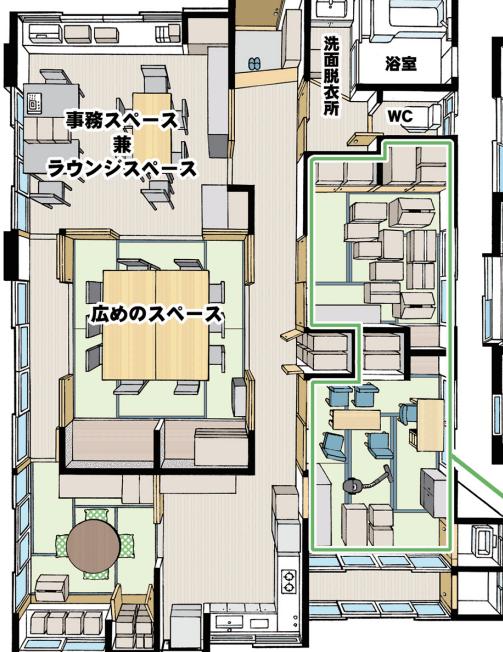
古い建物ですけど
工夫して使って
いただければ
：という感じで

まさに
渡りに舟！



例えば(実際の事例から)

A地区



B地区



この2部屋は家主さんが物置きとして使用されています。

「ラウンジスペース」「事務スペース」多目的に使える「広めのスペース」がとれるとよいです

活動拠点としてどのような物件が使いやすいのかは活動内容によって変わります。近隣に使える公共施設などがあるなら、その活用も前提に考えてみましょう。

生活上の手助けをするような活動の場合は、休憩したり数人でお茶飲みしたりできるような「ラウンジスペース」と、書類を保管したりする「事務スペース」、椅子座で20~30人程度が入れるくらいの多目的に使える「広めのスペース」があるとよいです。

「ラウンジスペース」は「広めのスペース」で兼ねることもできます。2階建ての場合でこれらすべてを1階に確保できないときは、「事務スペース」と「ラウンジスペース」は日常的に使うので1階にあるとよいでしょう。

【原案】神奈川県立保健福祉大学 中村 美安子／横浜国立大学 大原 一興 藤岡 泰寛
【作画・構成】たちばな いさぎ

本パンフレットは神奈川県立保健福祉大学及び横浜国立大学の機関リポジトリでもご覧いただけます。

URL <https://kuhs.repo.nii.ac.jp/records/2000052>

URL <https://ynu.repo.nii.ac.jp/records/2000226>

JSPS科研費JP19K02269（住民福祉活動の拠点確保における空き家活用方策に関する研究）の助成を受けて作成したものです。

